

**経済産業省・日本健康会議による健康経営企業の認定制度
「健康経営優良法人2017」に認定
～特に優良な健康経営を実践している法人として選定～**

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、この度、経済産業省が日本健康会議と共同で「健康経営」を実践している法人を選定する「健康経営優良法人認定制度」の「大規模法人部門（ホワイト 500）」において、「健康経営優良法人 2017」に認定されました。

※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。



健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践する企業運営を指すもので、企業理念に基づき、従業員への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されています。

「健康経営優良法人認定制度」は、2016 年度から創設されたもので、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な「健康経営」を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。その中で、上場企業に限らず大規模法人のうち保険者と連携して優良な健康経営を実践している法人について、「健康経営」を実践する法人の拡大を目的に、2020 年までに 500 社を「ホワイト 500」として認定します。初となる今年度は、235 法人が認定を受けました。

「ホワイト 500」の認定には、法人の健康経営の取組状況と経年での変化を把握・分析することを目的に経済産業省が実施した「平成 28 年度健康経営度調査」の調査結果が用いられ、LIXIL は、生活習慣病などの疾病の重症化防止活動・メンタルヘルスケア・独自の運動奨励といった健康保持・増進施策が高く評価され、総合でトップクラスの評価を受けました。

LIXIL グループでは、今後も多様な人材が能力を最大限発揮できるよう、働き方の改革や企業風土づくりを推進していきます。

■ LIXIL、LIXILグループについて

LIXILについて

株式会社LIXILは、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。2011年に国内の主要な建材・設備機器メーカー5社が統合して誕生しました。以後、American Standard Brands、GROHE、Permasteelisa Groupといった海外企業の統合により、世界的ブランドを傘下に収め、現在、LIXIL Water Technology、LIXIL Housing Technology、LIXIL Building Technology、LIXIL Kitchen Technologyの4つのテクノロジー事業に加え、日本における営業活動を担うLIXILジャパンカンパニーを軸に幅広く事業を推進しています。

LIXILグループについて

株式会社LIXILグループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社LIXILをはじめ、株式会社LIXILビバ、株式会社LIXIL住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2016年3月期の連結売上高は1兆8,905億円※です。

※国際会計基準（IFRS）ベース